

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」 学校法人巨樹の会 福岡水巻看護助産学校（令和4年度）

令和4年5月1日現在

ガイドラインの項目	学校が設定する項目		
(1) 学校の概要・目標及び計画	概要	校長名	矢野 公一
		所在地	福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目14-51
		連絡先	電話093-201-5233
		学校の沿革	平成20年3月 学校法人 福岡保健学院 福岡看護専門学校水巻校 看護学科 3年課程認可 平成20年4月 開校 看護学科 第1回生入学（定員80名） 平成23年3月 助産学科 1年課程認可 平成23年4月 学校法人 福岡保健学院 福岡水巻看護助産学校に改称 助産学科 第1回生入学(定員25名) 令和 2年4月 学校法人巨樹の会 福岡水巻看護助産学校に改称 令和 4年4月 助産学科 定員数変更(25名から16名へ)
		学校の特徴 (教育活動、カリキュラム、教職員、施設・設備及び学習環境等)	カリキュラム、臨地実習、教材、年間行事予定等の情報をホームページ・学校パンフレットに記載。
	目標計画	教育目標	【看護学科】 1. 人間愛を基盤とし、生活者である人間を身体的・精神的・社会的側面から捉える能力を養う。 2. 人間の多様な価値観を尊重し、専門職業人として倫理に基づいた行動がとれる能力を養う。 3. 対象の状況を的確に判断し、健康の保持・増進、疾病の予防および健康の回復に関わる看護実践能力を養う。 4. 自己実現を基盤とし、看護の質の向上に寄与できる自己教育力を養う。 5. 保健・医療・福祉のチームの一員として多職種と連携・協働しながら、多様な場で生活する人々へ看護を提供する基礎的能力を養う。 【助産学科】 1. 人間愛を基盤とし、豊かな感性と対象の尊厳・権利を尊重できる倫理観を培う。 2. 人間をあらゆる側面から統合的に捉え、生活を営む存在として幅広く理解する能力を養う。 3. 妊娠・分娩・産褥・育児に関わる母親及びその家族等、女性の生涯にわたる健康を支援するウィメンズヘルスケアのための知識・技術を身につける。 4. 専門的な知識・技術を活用し、根拠に基づいた安全・安楽な助産が提供できる能力を身につける。 5. 多様化する地域の母子保健・周産期医療を取り巻く諸課題に向き合い、それらの充実と発展を志向し、保健医療チームにおいて他の関係者と連携・協働する能力を身につける。 6. 助産師としての専門性を高め、課題達成に向け研鑽し続ける能力を養う。
		運営方針	年度初めに運営方針を示し、各法令に基づき、定期的に運営会議及び管理会議、教員会議等を開催し教育目標の達成を図る。
		教育指導計画	教育課程に基づき各学年における教育目的・目標を明確にし、授業科目の進度及び時間割によって、知識及び技術の習得を目指す。
		学校行事計画	年間行事予定をホームページ、学校パンフレットに記載。
		入学者選考の方針及び方法	保健医療福祉の分野で貢献できる人材育成を目指して複数の入学者選抜方法を採用している。推薦・一般・社会人選抜を実施。
(2) 学科の教育	総定員数	看護学科：240名（1学年80名） 助産学科：16名（1学年16名）	
	入学者数及び在学者数	看護学科：入学生 74名 在校生 220名(3学年合計) 助産学科：入学生 16名 在校生 16名(1学年合計) ※令和4年5月1日現在	
	教育課程	ホームページ、学校パンフレットに記載。	
	進級及び卒業要件(成績評価、進級及び卒業基準)	(進級)教育課程に基づき、各学年の科目単位を履修すること。 (卒業)本校の履修すべき科目のすべてにおいて単位履修認定を受け、学校運営会議で学校長が卒業を認定する。 (成績評価)講義・実習に必要な時間の出席状況と当該科目の評価によって行う。授業科目の出席日数が3分の2に達していない者は、その科目の評価を受ける資格を失う。 科目の評価は優・良・可・不可(60点未満)の4段階とし、可以上を合格とする。	
	成績の客観的な指標の算出方法	履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。(100点満点で点数化)	
	取得資格	看護学科：看護師国家試験受験資格、保健師・助産師学校受験資格、4年制看護大学編入資格、専門士の称号 助産学科：助産師国家試験受験資格、受胎調節実地指導員申請資格、新生児蘇生法Aコース講習修了	
	卒業業者数及び卒業後の進路状況	看護学科：卒業業者数 66名。 関連施設への就職69.7%、その他の病院等への就職27.3%、本校助産学科へ進学1.5%、その他の進学1.5%。 助産学科：卒業業者数 17名。 関連施設への就職11.8%、県内の病院等への就職47.0%、県外の病院等への就職41.2%。 ※令和3年度卒業生	
	(3) 教職員	教職員数	36名
教職員の組織及び専門性		学校長、副学校長、事務部長、教務部長、実習調整者、教務主任、専任教員(専門領域毎配置)、実習指導教員、司書、健康管理医、 学校カウンセラー、事務職員	
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取組状況	段階的に講義・演習・実習を組んでいる。キャリア教育は3年時に卒後のキャリアアップについて講義を取り入れている。	
	企業等との実習等の取組状況	実習指導教員を配置し、実習施設の指導者と連携を図り、学生指導にあたる。主たる関連病院実習施設では連携し、毎月臨地実習指導者会議を開催し、全員で指導内容の検討及び学習会を実施。	
	就職支援の取組状況	関連病院見学・説明会、担任による個別指導、副学校長、教務部長の指導。	
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況	入学式・戴帽式・卒業式等及び教科外活動、施設見学について年間行事計画を立案、実施計画を作成し、会議を経て実施する。	
	課外活動等の状況	地域清掃活動、地域交流会等を実施。	
(6) 学生の生活支援	学生支援への取組状況	担任及び各教員の個別指導・面談(保護者を含む)学校カウンセラーの配置、保護者会の実施。	
(7) 学生納付金・修学支援	学生募集及び納付金の取り扱い	学校パンフレット・ホームページに記載	
	就学支援の内容	高等教育修学支援新制度対象校・日本学生支援機構奨学金・福岡県看護師等修学資金・専門実践教育訓練給付金・教育訓練支援給付金。	
(8) 学校の財務	資金収支計画書、消費収支計算書及び貸借対照表	法人ホームページに公開	
(9) 学校評価	自己点検及び自己評価報告書	ホームページに公開	
	学校関係者評価による改善方策	ホームページに公開	
(10) 国際連携の状況		海外研修(カンボジアアンコール小児病院への見学)・アンコールフレンズ基金に協力。	
(11) その他			